

祝成人

平成19年勝山市成人式が、1月7日に市民会館で開催されました。参加された312人の新成人を前に、山岸市長は、「夢をかたちにする努力が、皆さんの人生を生きがいのあるものにしてくれます。」と激励の言葉を贈りました。

式典では、「新成人の声」の表彰や最優秀作品の朗読、新成人の誓いのことばなどが厳かに執り行われました。



夢が人を強くする



新成人の誓いを述べる若林瑞紀さん

新成人から



「新成人の声」作文で最優秀賞を受賞した苅安美和さん



牛島 彩さん =昭和町1丁目=
市内の企業に勤めていますが、今はまだ、仕事や家庭で先輩や親に頼っているところが大きいので、精神的にも経済的にも、一つでも自分の力のできるようになればと思っています。



永井千博さん =元町2丁目=
昨年、自動車関係の仕事に就職が決まり、先輩に教わりながら仕事を頑張ってきました。今後は先輩に頼らずに一人で何でもできるようになりたいです。また、親の助けなしで経済的に自立をし、一人前と言われるように頑張ります。

平成19年 勝山市新成人数 339人



式典終了後、教育会館では、新成人による成人式実行委員会が企画運営を行う、「成人のつどい（懇親会）」が開かれました。

華やかな晴れ着や真新しいスーツで一杯になった会場は、久しぶりの再会となる友人や恩師との語りいで盛り上がりっていました。

新たな門出



再会



苅安美和さん =長山町2丁目=
現在、福井市内で学生起業のお店のスタッフとして活動していますが、そこでの経験から、自分の気持ちを自分の言葉で、相手に伝えられるようになりたいと思っています。そのためには、話をしっかり聞くことが大事なので、相手の立場に立った考え方ができるように心掛けていきたいです。



宮本直幸さん =元町3丁目=
成人式実行委員長として「成人のつどい」の企画をしましたが、みんなが久しぶりに集まるので、楽しい企画を考えました。20歳を機に大人としての自覚を持ちたいです。企画を考えるのは好きで、楽しいので、こういった関係の職に就ければと思います。



アトラクション 勝山市役所若手職員らによる「平泉寺物語」